

第40回法人会全国大会鹿児島大会の報告

令和6年10月3日（木）第40回法人会全国大会鹿児島大会が鹿児島市城山ホテル鹿児島「エメラルド」で開催され、約1,700名が参加しました。

第1部の大会式典では、一般社団法人鹿児島県法人会連合会の今別府英樹会長の開会の辞、主催者を代表しての小林栄三全法連会長挨拶、奥達雄国税庁長官、塩田康一鹿児島県知事ほか来賓の祝辞、会員増強表彰等の表彰式に続いて飯野光彦税制委員長から令和7年度税制改正に関する提言の要旨が発表されました。

提言要旨については、

- ・財政健全化は国家的課題であり、日本経済の将来にわたる持続可能性を高めるためにも本格的な歳出・歳入の一体的改革を進めることが重要であること。
- ・持続可能な社会保障制度を構築するためには、適正な「負担」を確保するとともに「給付の重点化・効率化」により可能な限り社会保障費を抑制する必要があること。
- ・行政改革を徹底するに当たっては、地方を含めた政府・議会自らが「まず隗から始めよ」の精神に基づき、率先して身を削らなければならないこと。
- ・消費税については、軽減税率制度とインボイス制度について、国民や事業者への影響、低所得者対策の効果等を検証する必要があるとあり、問題があれば制度の是非を含めて見直しが必要であること。
- ・中小企業の技術革新など経済活性化に資する税制措置については、制度を拡充したうえで本則化を図ること。
- ・中小企業にとって円滑な事業承継に資するため事業用資産を一般資産と切り離した本格的な事業承継税制を創設する必要があること

等が柱となっています。

続いて、今年の全国青年の集いにおける発表で最優秀賞を受賞した法人会青年部会による租税教育活動と健康経営活動の報告があり、最後は野坂文雄筆頭副会長の税制改正に関する提言の実現を強く求める大会宣言で締めくくられました。

第2部は、城山ホテル鹿児島「クリスタルガーデン」に会場を移して「新型コロナ禍で大打撃を受けた航空業界 危機下の経営戦略を語る」と題してANAホールディングス(株)取締役会長の片野坂真哉氏から記念講演がありました。

第3部の懇親会は、再び会場を城山ホテル鹿児島「エメラルド」に移して、立食形式で行われました。郷土料理や美味しい地酒が振舞われ、大いに舌鼓を打ちました。来年の高知大会での再会を約して散会しました。

以上